



○ 草の根パートナー型

平成14年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	カンボジア
2. 事業名	カンボジア農村における地域保健プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	カンボジア農村での保健状況は非常に厳しく、さらに保健システムの整備も不十分である。そのような環境の中、人々が健康に暮らすためには、地域住民の自主的な健康改善への活動と、人材の育成とが求められる。当会では、特に早急な対応が必要と思われる母子保健、HIV/AIDSに焦点をあてた活動を行なう。
4. 事業の目的	対象地域の人々が保健活動に参加することにより保健医療に関する知識を得、保健センターと協力して健康改善に取り組むようになること。
5. 対象地域	コンボンチャム県スレイセントー・コーンミア保健行政区
6. 受益者層	保健スタッフ、伝統助産婦、中・高等学校教師、中・高等学校生徒、慢性疾患患者とその家族、地域一般住民
7. 活動及び期待される成果	助産婦や伝統助産婦への教育により地域の母子の健康が増進し、同時に母親達が健康改善のための活動が出来るようになる。保健センタースタッフや保健ボランティアが自主的かつ質の高い保健教育活動が出来るようになる。HIV/AIDSに関しては地域住民の知識が深まり、予防的行動が促されると同時に、AIDS、結核を中心とした慢性疾患患者、そしてその家族が適切なケアやサポートを得られるようになる。これらの成果を、知識の習得度、活用実績、行動変容等を指標として計測する。
8. 実施期間	2003年4月～2004年12月（9ヶ月）
9. 事業費	第一年度契約金額：28,231千円（精算金額：26,549千円） 第二年度契約金額：19,031千円（精算金額：17,926千円）
10. 事業の実施体制	カンボジア事務所が実施主体となり、シェア東京事務局、運営委員、アドバイザーグループがサポートを行なう。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会
2. 活動内容	アジア・アフリカへ医療専門家を派遣し、プライマリー・ヘルス・ケア、エイズ対策、母子保健、人材育成等のプロジェクトを実施。日本国内でも在日外国人のための医療相談等を行っている。
3. 対象国との関係、協力実績	カンボジア保健省の認可のもと、クサイカントール郡にて地域保健プロジェクト（1992-1998）、スレイセントー・コーンミア保健行政区にて地域保健プロジェクト（1998-2003）、HIV/AIDS予防とケアプロジェクト（2000-2003）年を実施。